

厚生労働大臣メッセージ

今年で72回目を迎える赤い羽根共同募金運動が、本日から始まります。

この運動は、国民の皆様の善意と助け合いの精神によって支えられ、我が国の地域福祉の推進に大きく寄与するだけでなく、災害時のボランティア活動の支援にも役立てられています。

現在、我が国では、少子高齢化が進展し、社会構造が変化する中、様々な福祉ニーズが顕在化しています。本年4月に施行された改正社会福祉法を踏まえ、子ども、高齢者、障害者など全ての人々が、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組を強化してまいります。

日本の募金運動の草分けとして、寄附文化を育み、住民が相互に支え合う地域づくりに貢献してきた赤い羽根共同募金運動が、今後も力強く展開されることを願っています。

本年も、多くの皆様のご支援、ご協力を心からお願いいたします。

平成30年10月1日

厚生労働大臣

加藤 勝信

中央共同募金会会長メッセージ

赤い羽根共同募金運動が本日から全国一斉に始まりました。

戦後まもなく、たすけあいの精神で始まった共同募金運動は、国民の皆様の永きにわたる共感に支えられ、今年で72回目を迎えました。

共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、募金にご協力いただいた地域の「住民の助け合いの活動」に使われております。

また、地震や台風、集中豪雨など災害が頻発する中で、共同募金はそうした大規模災害が発生した際には、都道府県域を越えて、被災された方々を支えあうしくみとしても役立てられています。

近年、生活困窮や社会的孤立など、人々の生活課題が複雑化・多様化する中で、課題解決のための活動を支える共同募金への期待は、益々高まっております。

今後も、人と人とのきずなを強くし、住民の生活と暮らしを豊かなものとするため、多くの皆様方の参加と協力をいただき、その実現に努めてまいります。

国民の皆様からの信頼と期待に応えるため、共同募金関係者の一層のご努力をご期待申し上げます。

平成30年10月1日

社会福祉法人 中央共同募金会

会 長 斎藤 十朗